

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会（人・社会・環境）に貢献する

コア営業利益
1,000億円

② 中長期の経営戦略

1. デジタルソリューション事業の強化

電子材料・ディスプレイ材料・オプティカルソリューション事業をコア事業として、微細化対応や先端実装技術への対応を進める

2. 合成樹脂事業の差別化

HUSHILLOYなど差別化製品のグローバル拡販と継続的なコスト改善により利益確保を実現

3. ライフサイエンス事業の構造改革

拠点・機能の統廃合、事業譲渡を含めた構造改革と、KBIのCDMO事業の生産安定化を推進

4. 次世代研究への投資

RDテクノロジー・デジタル変革センターを中心に、メタマテリアルやスピントロニクス材料など未知分野への挑戦

③ 対処すべき課題

① 電子材料事業の競争力強化

- ・ 微細化や構造複雑化への対応技術開発
- ・ 高度な研究開発力と製造体制の構築
- ・ 経済合理性を満たすコスト競争力の確保

② 環境・サステナビリティ対応

- ・ 2050年度にGHG排出量実質ネットゼロを目標に、2030年度までに42%削減（2023年度対比）
- ・ 低温焼成ディスプレイ材料提供や配向膜リサイクル事業の立ち上げ
- ・ 大学やコンソーシアムとの連携による社会課題解決

③ グローバル経営環境への対応

- ・ ウクライナ情勢長期化やデカップリングなどの地政学的リスク対応
- ・ 世界各拠点の文化尊重と情報一元管理
- ・ BCM・BCP体制の強化と危機管理訓練の実施

面接で使えるポイント

- ・ AI需要拡大を背景に2030年度に半導体市場が140兆円規模に成長予想される中…
- ・ マテリアル・インフォマティクスや量子化学計算実用化で製品開発のパラダイムシフト創出に挑戦
- ・ 2030年度までにGHG排出量を42%削減（2023年度対比）する目標で環境への貢献を実現

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,407億円営業利益率
9.2%財務健康度
54点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

